

平面図

S=1:500

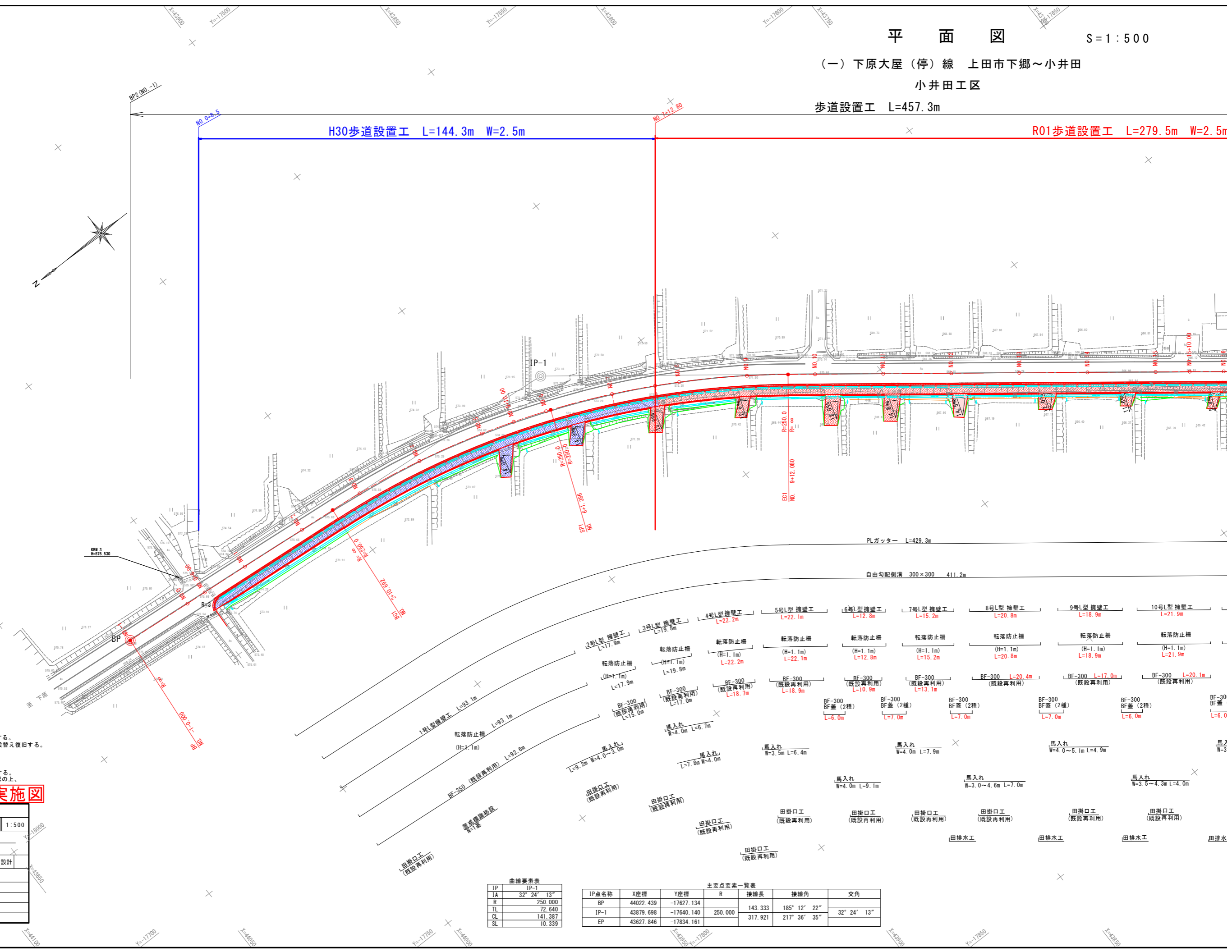
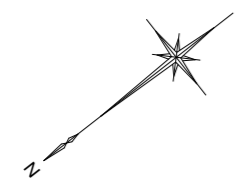
(一) 下原大屋(停)線 上田市下郷~小井田

小井田工区

歩道設置工 L=457.3m

R01歩道設置工 L=279.5m W=2.5m

H30歩道設置工 L=144.3m W=2.5m



- 注記)
- 1) 用水路は既設製品を再利用して敷設することとする。
 - 2) 用水路は現況高と同じ高さで敷設替え復旧する。
 - 3) 田舎への掛口、排水口は、現況と同じ位置に復旧する。ただし、No. 21右側の排水口は、位置を起点側に変えて復旧する。施工時に、掛口、排水口を再確認の上、現況に合わせて復旧すること。

実施図

小井田工区			
番号	1/1	平面図(1)	縮尺 1:500
(一) 下原大屋(停)線 上田市 下郷~小井田			
所長	課長	調査	設計
上田建設事務所			
設計会社	管理技術者	調査技術者	
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

曲線要素表

IP	IP-1
IA	32° 24' 13"
R	250.000
TL	72.640
CL	141.387
SL	10.339

主要点要素一覧表

IP点名称	X座標	Y座標	R	接線長	接線角	交角
BP	44022.439	-17627.134				
IP-1	43879.698	-17640.140	250.000	143.333	185° 12' 22"	32° 24' 13"
EP	43627.846	-17834.161		317.921	217° 36' 35"	

平面図

S=1:500

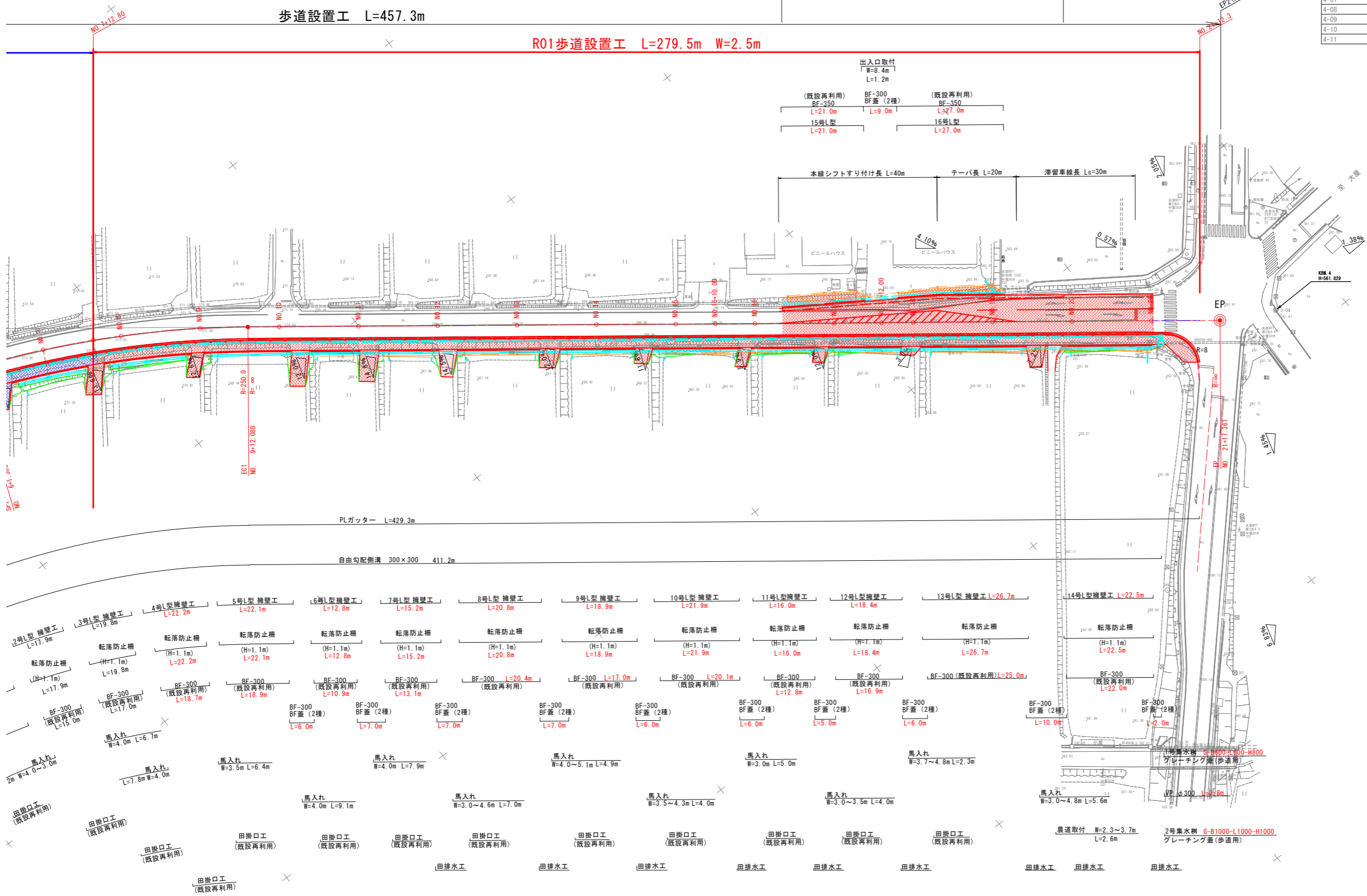
(一) 下原大屋(停)線 上田市下郷~小井田
小井田工区
歩道設置工 L=457.3m

交差点改良に伴う道路計画 L=71.0m

R01歩道設置工 L=279.5m W=2.5m

基準点座標

点名	X座標	Y座標
3-03	43999.579	-17621.883
3-04	43615.214	-17840.772
4-07	43915.675	-17634.455
4-08	43856.098	-17668.392
4-09	43799.607	-17708.523
4-10	43744.701	-17750.555
4-11	43690.858	-17792.168



- 注記)
- 1) 用水路は既設製品を再利用して敷設替えすることを原則とする。
 - 2) 用水路は現状高と同じ高さで敷設替え復旧する。
 - 3) 田圃への掛、排水口は、現状と同じ位置に復旧する。ただし、No.21右側の排水口は、位置を起点側に変えて復旧する。
 - 4) 施工時に、掛、排水口を再確認の上、現状に合わせて復旧すること

実施図

主要点要素一覧表

IP点名称	X座標	Y座標	R	接線長	接線角	交角
BP	44022.439	-17627.134		143.333	185° 12' 22"	
IP-1	43879.698	-17640.140	250.000	317.921	217° 36' 35"	32° 24' 13"
EP	43627.846	-17834.161				

小井田工区

番号	2/11	平面図(2)	縮尺	1:500
(一) 下原大屋(停)線 上田市下郷~小井田				
所長	課長	調査	設計	
上田建設事務所				
設計会社	管理技術者			
測量会社	調査技術者			
調査会社	主任技術者			

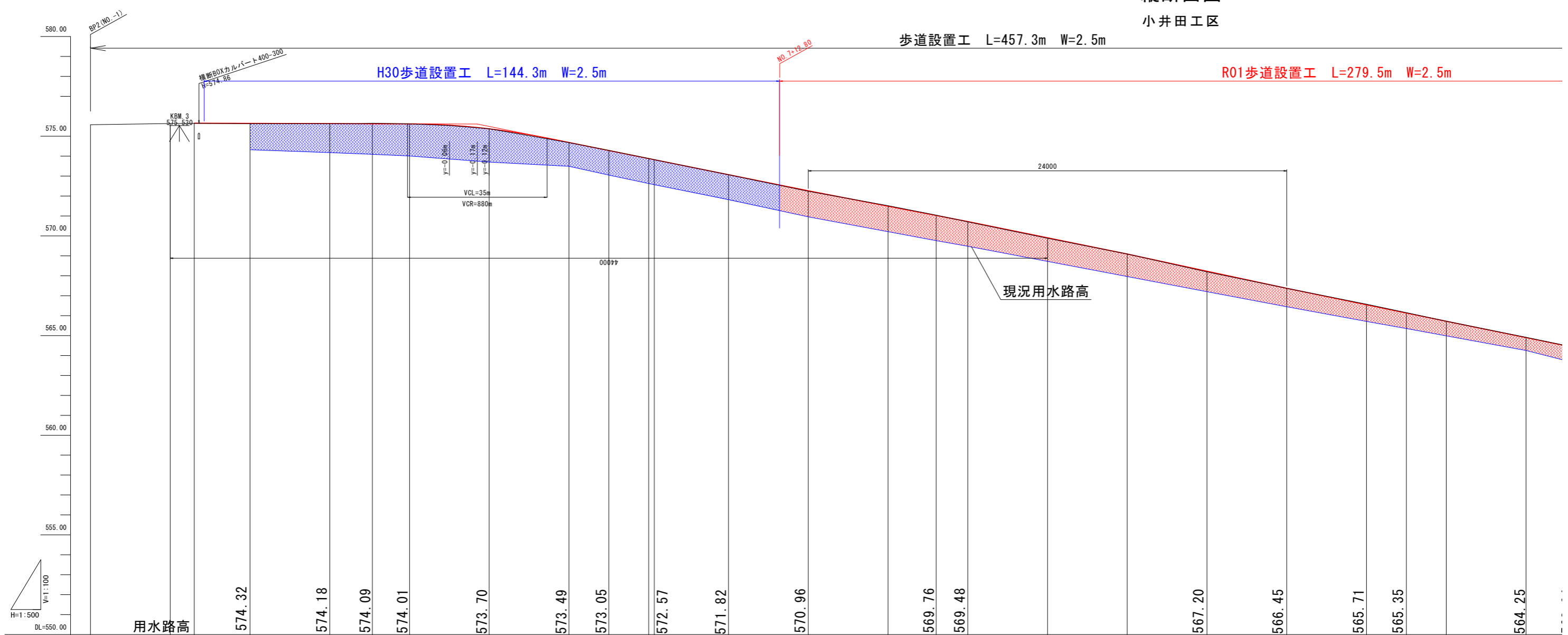
縦断面図

小井田工区

歩道設置工 L=457.3m W=2.5m

R01歩道設置工 L=279.5m W=2.5m

H30歩道設置工 L=144.3m W=2.5m



勾配	盛土高	切土高	計画高	地盤高	追加距離	単距離	測点番号	平面線形率図	幅	片勾配すりつけ図
	0.00		575.65	575.58	-20.00	0.00	BP2		0.00m	
	0.01		575.64	575.64	0.00	20.00	NO.0			
$i=0.06\%$ $L=71.00m$	0.00		575.65	575.65	6.00	6.00	NO.0+8.50			
	0.00		575.65	575.65	8.50	8.50				
	0.00		575.64	575.63	20.00	14.00	NO.1			
	0.00		575.63	575.63	40.00	20.00	NO.2			
	0.00	0.03	575.63	575.63	50.69	10.69	BC.1			
	0.00		575.62	575.65	60.00	9.31	NO.3			
	0.02		575.55	575.62	70.00	10.00	NO.4			
	0.02		575.44	575.62	80.00	10.00	NO.5			
	0.00		575.37	575.37	90.00	10.00	NO.6			
$i=4.04\%$ $L=83.00m$	0.00		575.37	575.37	100.00	10.00	NO.7			
	0.00		575.37	575.37	110.00	10.00	NO.8			
	0.00		575.37	574.68	120.00	10.00	NO.9			
	0.00		575.37	574.29	130.00	10.00	NO.10			
	0.00		575.37	574.29	140.00	10.00	NO.11			
	0.00		575.37	574.29	150.00	10.00	NO.12			
	0.00		575.37	574.29	160.00	10.00	NO.13			
	0.00		575.37	574.29	170.00	10.00	NO.14			
	0.00		575.37	574.29	180.00	10.00	NO.15			
	0.00		575.37	574.29	190.00	10.00	NO.16			
	0.00		575.37	574.29	200.00	10.00	NO.17			
	0.00		575.37	574.29	210.00	10.00	NO.18			
	0.00		575.37	574.29	220.00	10.00	NO.19			
	0.00		575.37	574.29	230.00	10.00	NO.20			
	0.00		575.37	574.29	240.00	10.00	NO.21			
	0.00		575.37	574.29	250.00	10.00	NO.22			
	0.00		575.37	574.29	260.00	10.00	NO.23			
	0.00		575.37	574.29	270.00	10.00	NO.24			
	0.00		575.37	574.29	280.00	10.00	NO.25			
	0.00		575.37	574.29	290.00	10.00	NO.26			
	0.00		575.37	574.29	300.00	10.00	NO.27			
	0.00		575.37	574.29	310.00	10.00	NO.28			
	0.00		575.37	574.29	320.00	10.00	NO.29			
	0.00		575.37	574.29	330.00	10.00	NO.30			
	0.00		575.37	574.29	340.00	20.00	NO.31			

IP.1
1A+35.24+13
R=250
TL=72.640 CL=141.388
SL=19.338

小井田工区

令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事

番号 3/11 縦断面図 縮尺 図示

(一) 下原大屋(停)線
上田市 下郷~小井田

所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社	管理技術者		
測量会社	照査技術者		
調査会社	主任技術者		

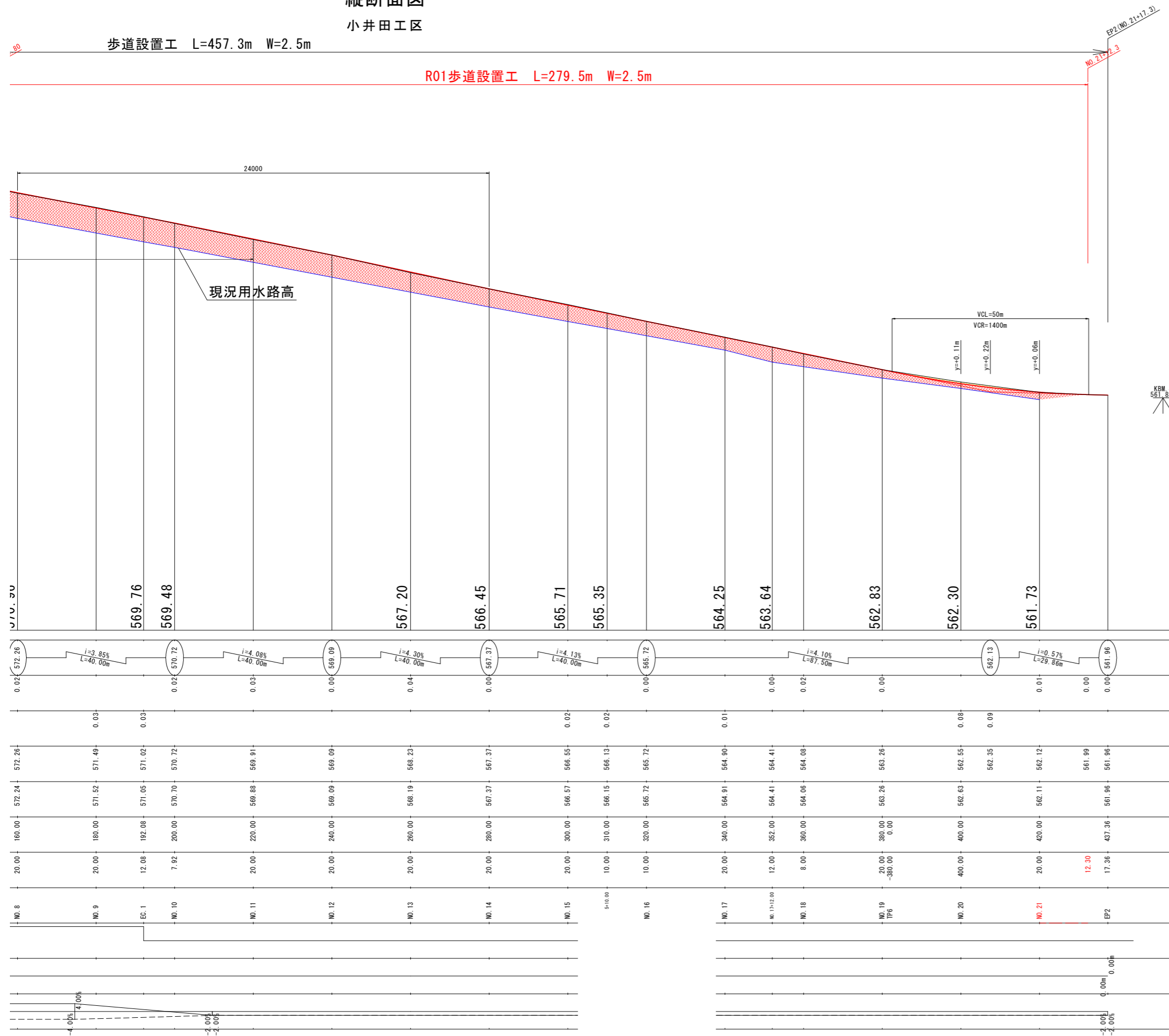
実施図

縦断面図

小井田工区

歩道設置工 L=457.3m W=2.5m

R01歩道設置工 L=279.5m W=2.5m



KBM 4
561.829

実施図

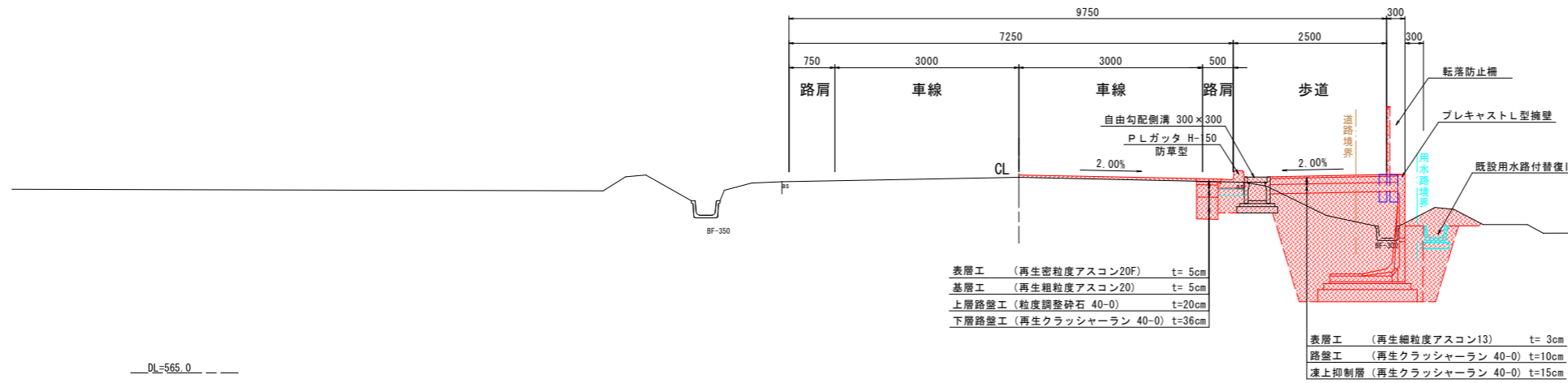
小井田工区			
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	4/11	縦断面図	縮尺 図示
(一) 下原大屋(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	

標準横断図 S = 1:50

標準部

NO. 13

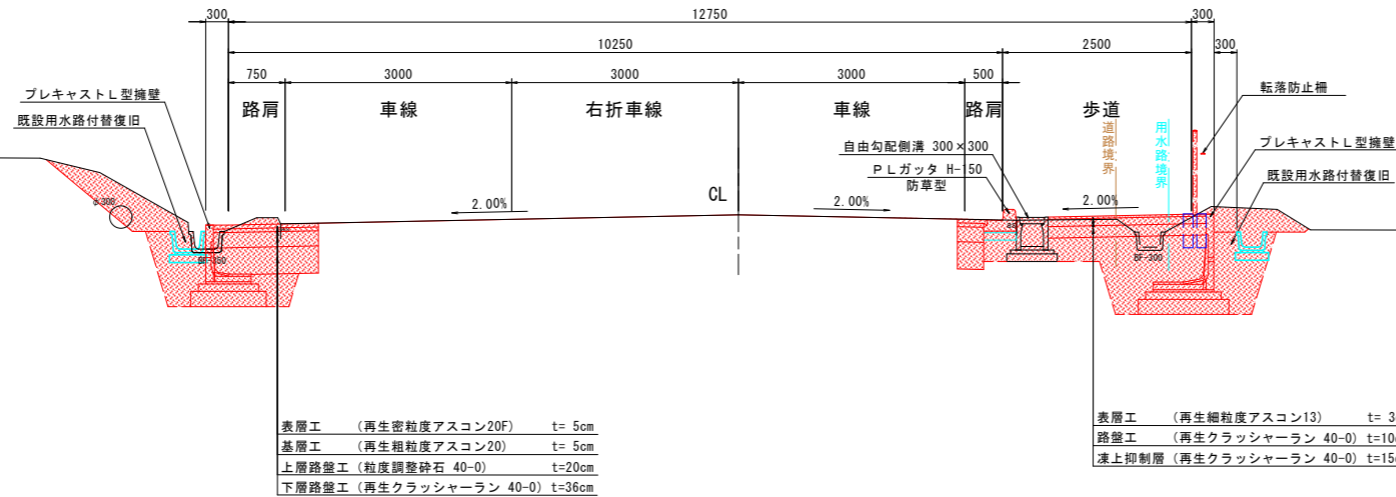
GH=568.19
FH=568.23



交差点部

NO. 19

GH=563.26
FH=563.26



構造規格	3種3級	交通量	観測 H27年 8,882 台/日 計画 H42年 8,720 台/日
巾員構成	0.75+1.00+1.00+0.50+2.50+8.75m	工種	道路改築
設計速度	40 km/h	縦断勾配	5.52%
最小半径	90 m	巾員	7.3~9.0m
勾配	縦断 5.52% 横断 2.0%	路面	アスファルト舗装
地質			

(1) 10年間に於ける平均の大型車1日1方向交通量	498 台/日	(2) 交通区分	250以上 1,000未満
(3) 各測定のCBR値	No. 1 No. 2 No. 4 No. 5	No. 3	N5
(4) 設計CBR値		(5) 凍結深	50 cm
(6) 将来舗装計画		施工年度	年
(7) 舗装厚	切土区間	(8) 舗装厚	盛土区間
設計CBR値より	T A目標準 (信頼度90%) 26 cm	設計CBR値より	T A目標準 (信頼度90%) 26 cm
凍結深より	35 cm	凍結深より	35 cm
表層工	5 x 1.00 = 5.00 cm	表層工	5 x 1.00 = 5.00 cm
基層工	5 x 1.00 = 5.00 cm	基層工	5 x 1.00 = 5.00 cm
上層路盤工	20 x 0.35 = 7.00 cm	上層路盤工	20 x 0.35 = 7.00 cm
下層路盤工	36 x 0.25 = 9.00 cm	下層路盤工	36 x 0.25 = 9.00 cm
計	66 26.00 cm	計	66 26.00 cm
合計	66 cm	合計	66 cm

※設計CBR=3.0%による舗装構成を想定している。変状CBR試験を実施し、試験結果を監督員に提出し、設計CBR並びに舗装構成を決定するものとする。舗装構成決定後に舗装工を施工すること。

※盛土区間の舗装構成は、盛土材変状CBR試験=3.0%以上かつ4.0%未満で、路床盛土厚=1.0mであることを前提に設計CBR=3.0%とし、舗装構成を決定している。路床盛土材の変状CBR試験結果を監督員に提出し、舗装構成について確認を得てから施工すること。

NO. 16 (代表断面)

C:掘削	0.0m2	L1:切土法面整形	0.0m
C1:床掘	4.3m2	L2:基面整形	1.2m
B2:埋戻し	1.1m2	W:車道不陸整形	2.2m
		W1:車道舗装	3.63m
		W0:舗装取幅	0.6m

NO. 15 (代表断面)

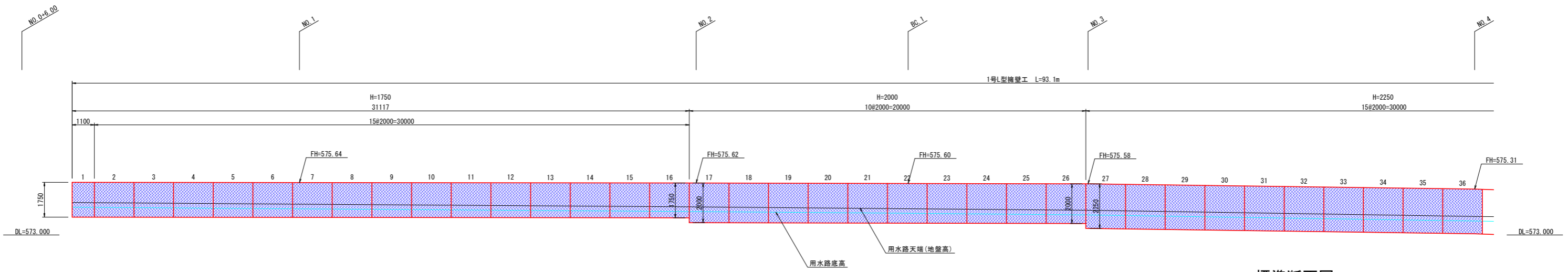
C1:床掘	3.7m2	L:盛土法面整形	0.7m
B:歩道盛土	0.6m2	L2:基面整形	2.2m
B1:畦畔盛土	0.4m2	W:車道不陸整形	0.4m
B2:埋戻し	2.2m2	W1:車道舗装	0.40m
		W2:歩道舗装	2.10m
		W0:舗装取幅	0.7m

実施図

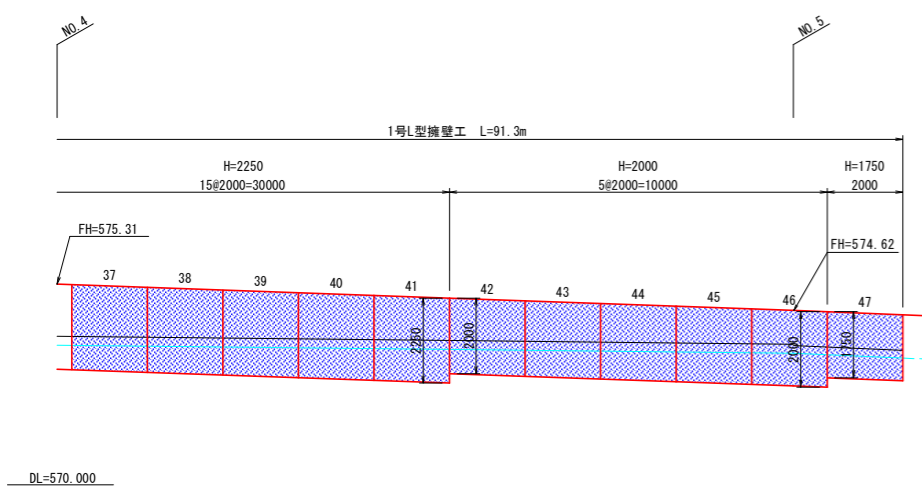
小井田工区			
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	5/11	標準横断図	縮尺 1:50
(一) 下原大屋(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	調査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		調査技術者	
調査会社		主任技術者	

L型擁壁 展開図(1) S=1:100

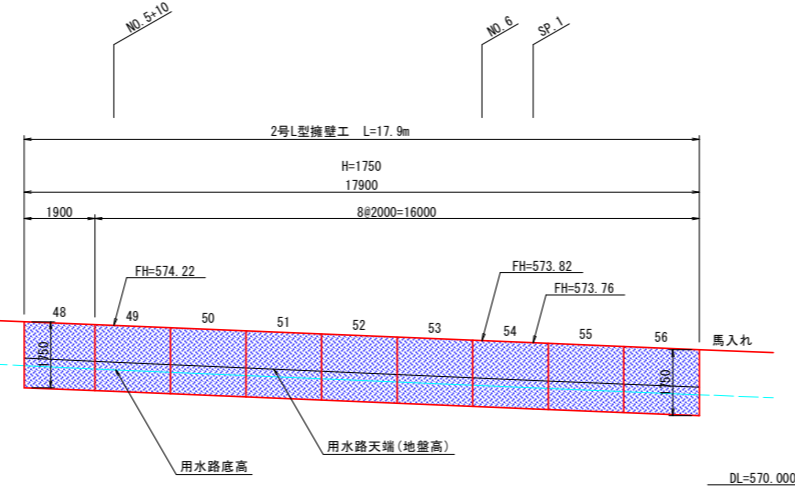
1号L型擁壁工展開図 その1



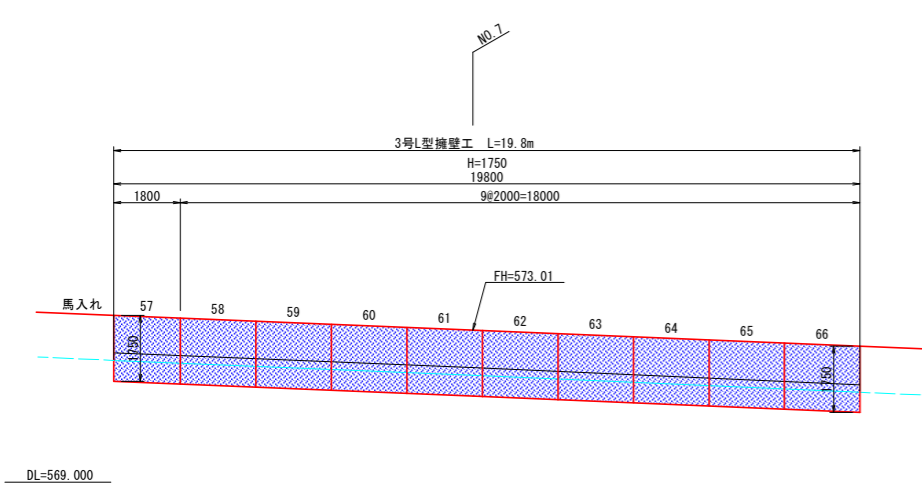
1号L型擁壁工展開図 (その2)



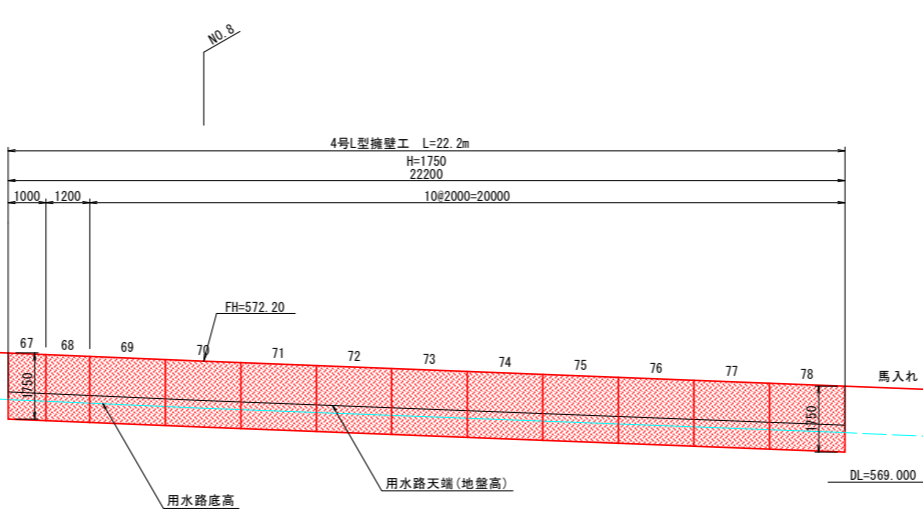
2号L型擁壁工展開図



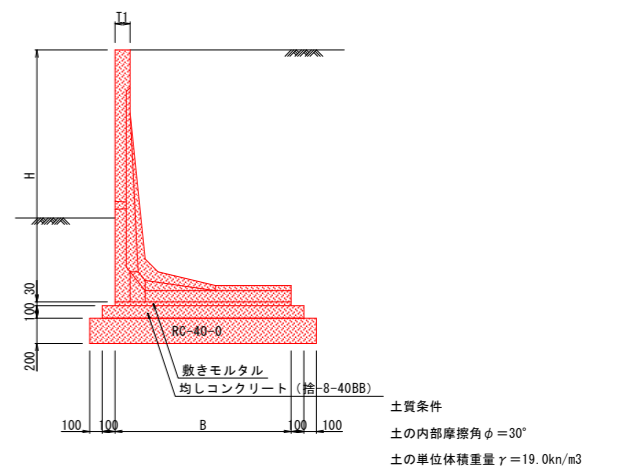
3号L型擁壁工展開図



4号L型擁壁工展開図



標準断面図 S=1:30



道路用L型擁壁 基礎工数量表 (参考値)

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量(延長10m当り)			摘要	
					敷きモルタル (m ³)	均し型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)		
1750	Aタイプ	1225	120	1498	0.368	1.425	2.00	16.25	—
2000	Aタイプ	1400	120	1785	0.420	1.600	2.00	18.00	—
2250	Aタイプ	1575	120	2144	0.473	1.775	2.00	19.75	—

1号~4号L型擁壁数量表

H (mm)	L (m)	本数 (本)			
		1号	2号	3号	4号
1750	1.0				1
1750	1.1	1			
1750	1.2				1
1750	1.8			1	
1750	1.9		1		
1750	2.0	16	8	5	10
2000	2.0	15			
2250	2.0	15			

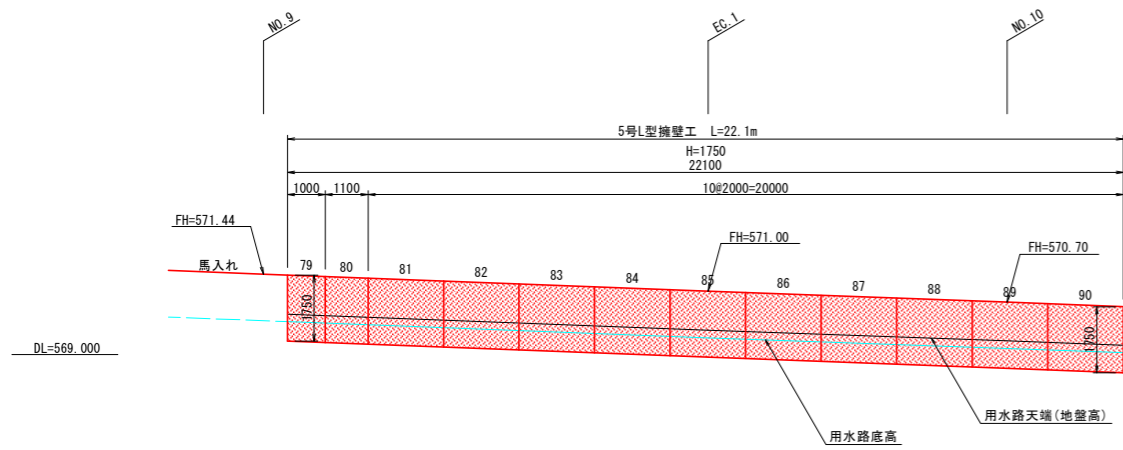
注記) 1. 施工時に基礎地盤の支持力を平板載荷試験等により確認すること。
 2. 基礎地盤の支持力は、300KN/m²を基本とする。
 3. 支持力が出ない場合は、対応を監督員と協議すること。
 4. 直高の低いL型擁壁は、地盤反力度が小さいので支持力が小さくても許容値を満足する。
 5. L型擁壁の寸法、基礎工数量は参考値である。

(参考図) 実施図

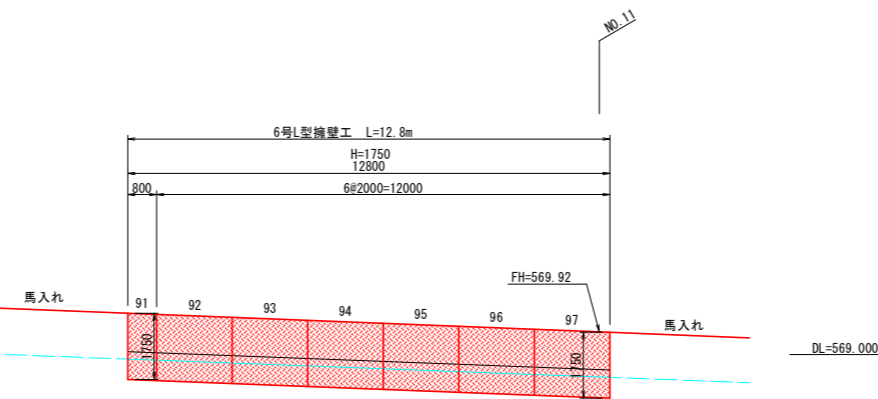
小井田工区
 令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事
 番号 6/1 L型擁壁 展開図(1) 縮尺 図示
 (一) 下原大屋(停)線
 上田市 下郷~小井田
 所長 課長 照査 設計
 上田建設事務所
 設計会社 管理技術者
 測量会社 照査技術者
 調査会社 主任技術者 主任技術者

L型擁壁 展開図(2) S=1:100

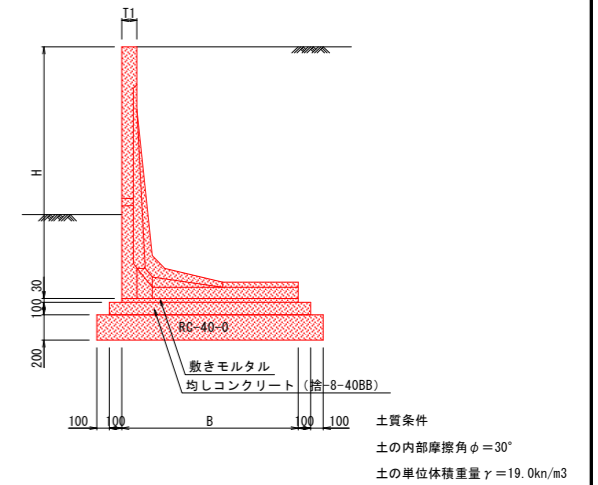
5号L型擁壁工展開図



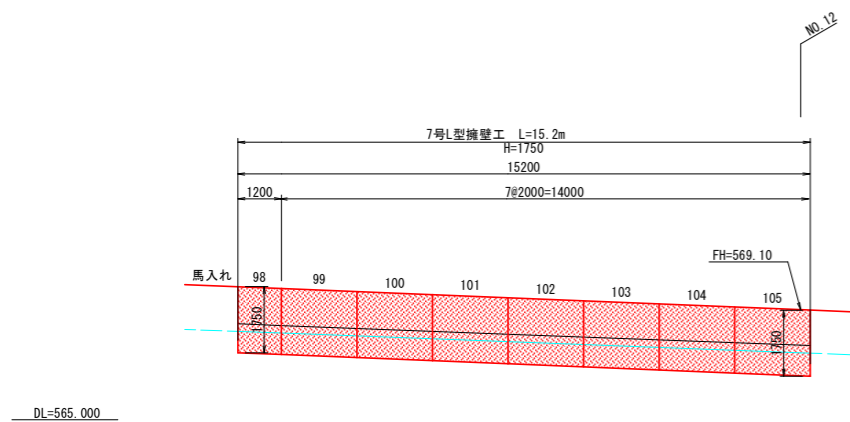
6号L型擁壁工展開図



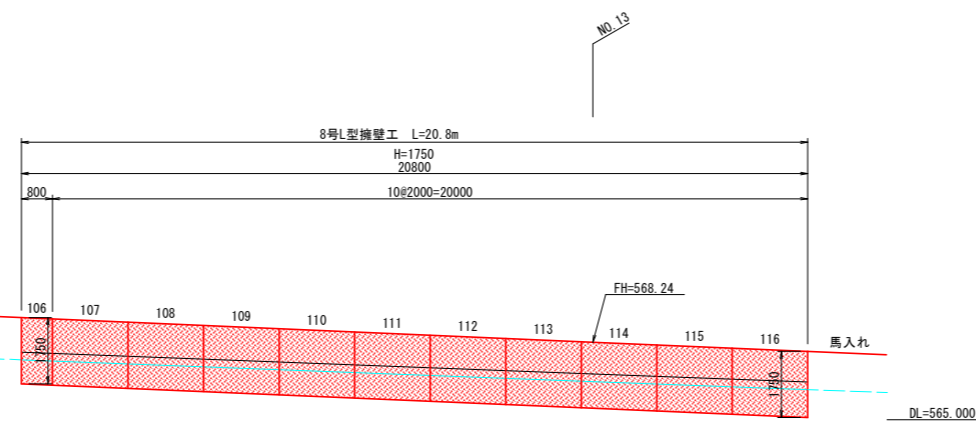
標準断面図 S=1:30



7号L型擁壁工展開図



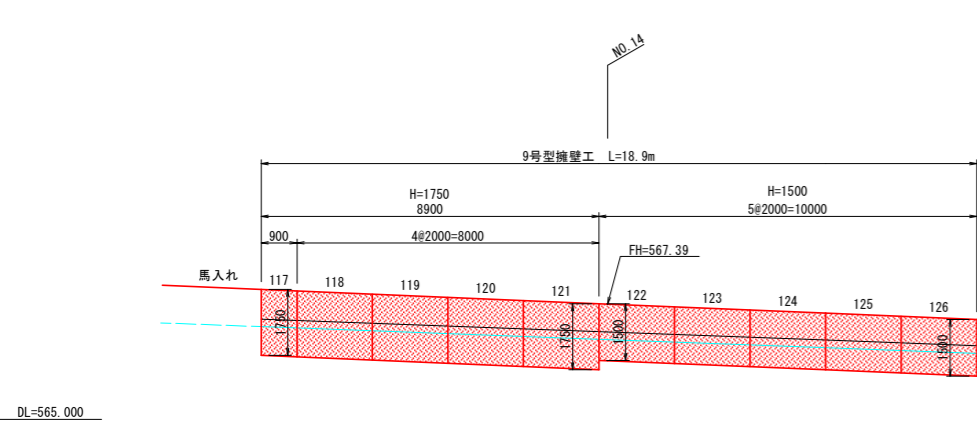
8号L型擁壁工展開図



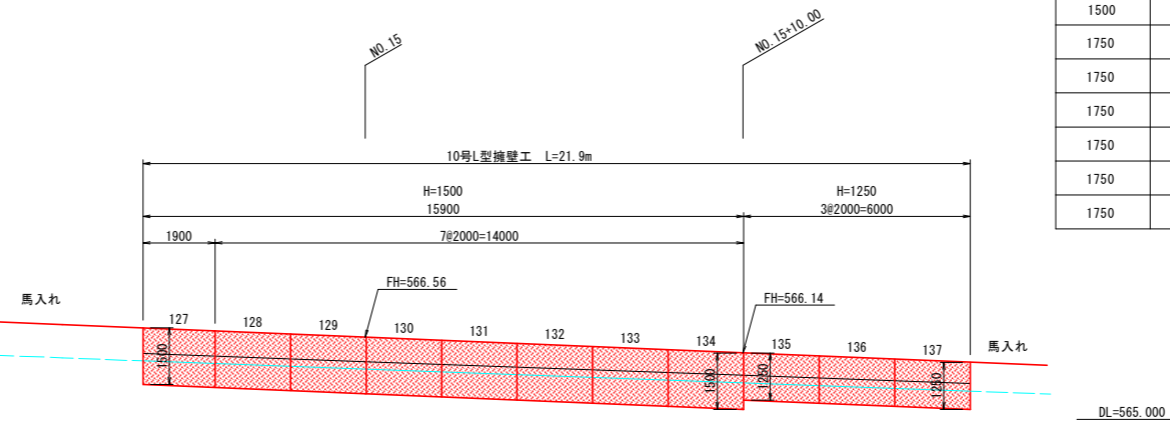
道路用L型擁壁 基礎工数量表 (参考値)

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量 (延長10m当り)				摘要
					敷きモルタル (m ³)	コンクリート (m ³)	均し型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	
1250	Aタイプ	1000	100	957	0.300	1.200	2.00	14.00	—
1500	Aタイプ	1050	100	1111	0.315	1.250	2.00	14.50	—
1750	Aタイプ	1225	120	1498	0.368	1.425	2.00	16.25	—

9号L型擁壁工展開図



10号L型擁壁工展開図



5~6号 L型擁壁数量表

H (mm)	L (m)	本数 (本)					
		5号	6号	7号	8号	9号	10号
1250	2.0						3
1500	1.9						1
1500	2.0					5	7
1750	0.8		1		1		
1750	0.9					1	
1750	1.0	1					
1750	1.1	1					
1750	1.2			1			
1750	2.0	10	6	7	10	4	

- 注記) 1. 施工時に基礎地盤の支持力を平板載荷試験等により確認すること。
 2. 基礎地盤の支持力は、300KN/m²を基本とする。
 3. 支持力が出ない場合は、対応を監督員と協議すること。
 4. 直高の低いL型擁壁は、地盤反力度が小さいので支持力が小さくても許容値を満足する。
 5. L型擁壁の寸法、基礎工数量は参考値である。

(参考図) 実施図

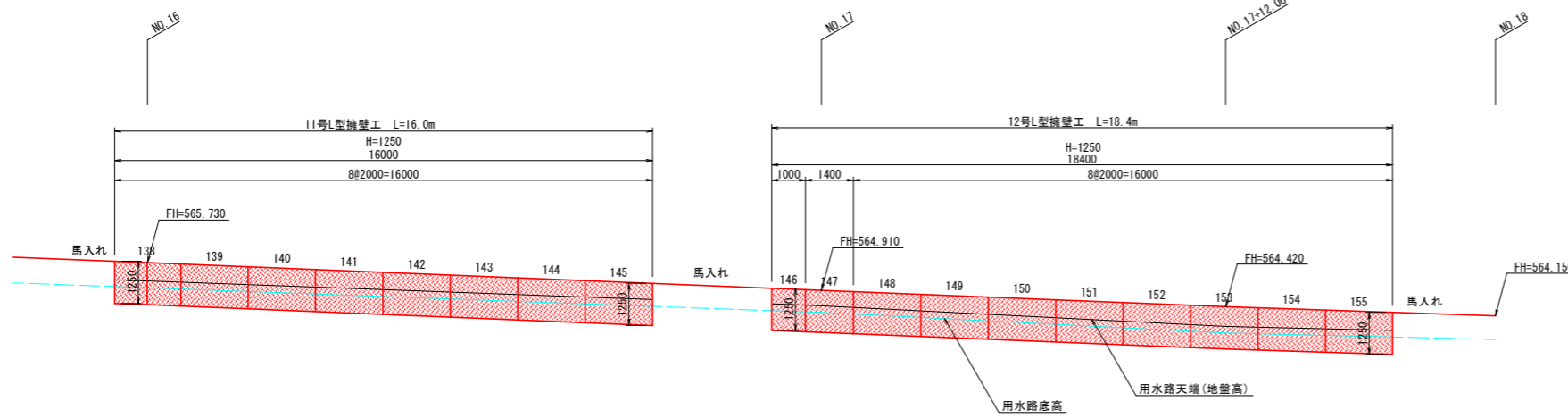
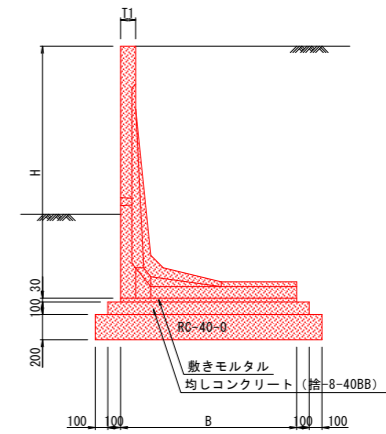
小井田工区			
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	11	L型擁壁 展開図(2) 縮尺	図示
(一) 下原大塚(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

L型擁壁 展開図(3) S=1:100

標準断面図 S=1:30

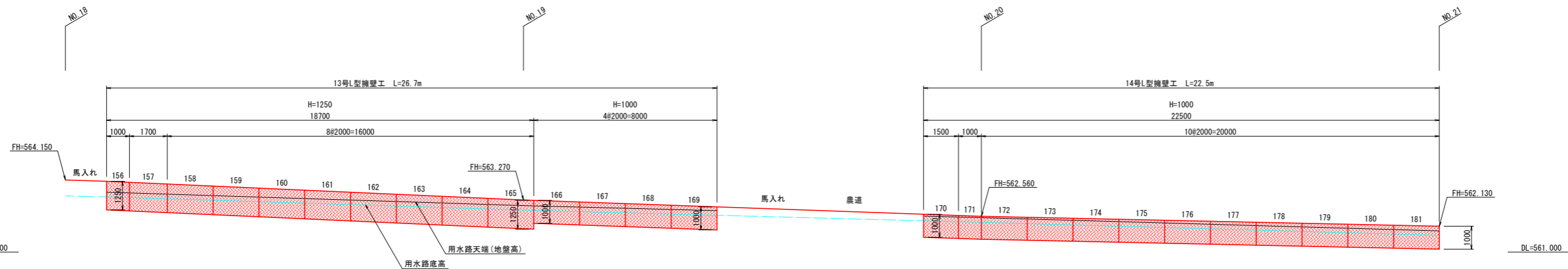
11号L型擁壁工展開図

12号L型擁壁工展開図



13号L型擁壁工展開図

14号L型擁壁工展開図



道路用L型擁壁 基礎工数量表 (参考値)

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量(延長10m当り)				摘要
					敷きモルタル (m ³)	コンクリート (m ³)	均し型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	
1000	Aタイプ	800	100	684	0.240	1.000	2.00	12.00	—
1250	Aタイプ	1000	100	957	0.300	1.200	2.00	14.00	—

11号~14号L型擁壁数量表

H(mm)	L(m)	本数(本)			
		11号	12号	13号	14号
1000	1.0				1
1000	1.5				1
1000	2.0			4	10
1250	1.0		1	1	
1250	1.4		1		
1250	1.7			1	
1250	2.0	8	8	8	

- 注記) 1. 施工時に基礎地盤の支持力を平板載荷試験等により確認すること。
 2. 基礎地盤の支持力は、300KN/m²を基本とする。
 3. 支持力が出ない場合は、対応を監督員と協議すること。
 4. 直高の低いL型擁壁は、地盤反力度が小さいので支持力が小さくても許容値を満足する。
 5. L型擁壁の寸法、基礎工数量は参考値である。

(参考図)
実施図

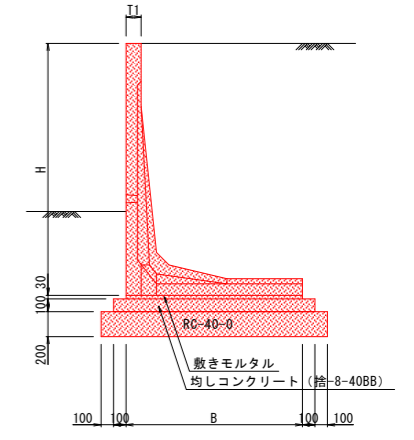
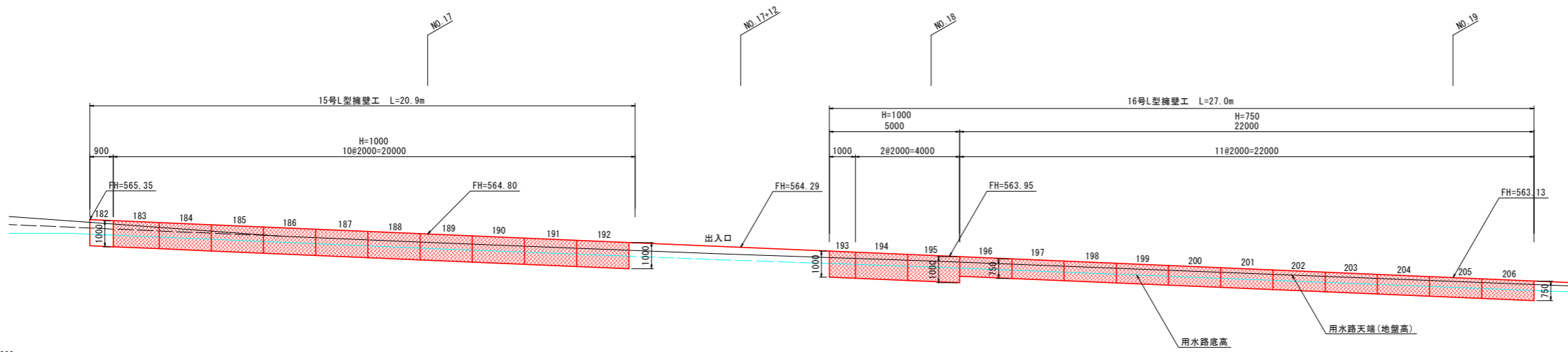
小井田工区			
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	8/11	L型擁壁 展開図(3) 縮尺	図示
(一) 下原大塚(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

L型擁壁 展開図(4) S=1:100

標準断面図 S=1:30

15号L型擁壁工展開図

16号L型擁壁工展開図



DL=560.000

DL=560.000

15号, 16号L型擁壁数量表

H (mm)	L (m)	本数(本)	
		15号	16号
750	2.0		11
1000	0.9	1	
1000	1.0		1
1000	2.0	10	2

道路用L型擁壁 基礎工数量表(参考値)

H (mm)	タイプ	B (mm)	T1 (mm)	製品重量 (kg)	基礎工数量(延長10m当り)				摘要
					敷き砂量 (m ²)	コンクリート (m ²)	均し型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	
750	Aタイプ	600	100	499	0.180	0.180	2.00	10.00	—
1000	Aタイプ	800	100	684	0.240	1.000	2.00	12.00	—

全体(1号~16号)L型擁壁数量表

H (mm)	L (m)	本数(本)																合計
		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号	15号	16号	
750	2.0																11	11
1000	0.9															1		1
1000	1.0														1		1	2
1000	1.5														1			1
1000	2.0												4	10	10	2		26
1250	1.0												1	1				2
1250	1.4												1					1
1250	1.7												1					1
1250	2.0									5	3	8	8	8				27
1500	1.9														1			12
1500	2.0														7			1
1750	0.8							1										2
1750	0.9																1	1
1750	1.0						1		1									2
1750	1.1	1																3
1750	1.2						1				1							2
1750	1.8									1								1
1750	1.9																1	1
1750	2.0	16	8	9	10	10	6	7	10	4								80
2000	2.0	15																15
2250	2.0	15																15

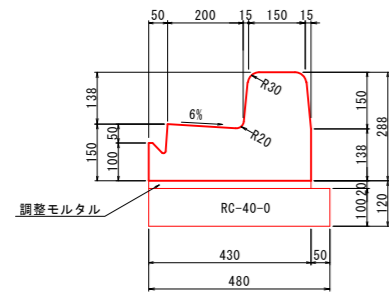
- 注記) 1. 施工時に基礎地盤の支持力を平板載荷試験等により確認すること。
 2. 基礎地盤の支持力は、300KN/m²を基本とする。
 3. 支持力が出ない場合は、対応を監督員と協議すること。
 4. 直高の低いL型擁壁は、地盤反力度が小さいので支持力が小さくても許容値を満足する。
 5. L型擁壁の寸法、基礎工数量は参考値である。

(参考図)
実施図

小井田工区			
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	0/11	L型擁壁 展開図(4) 縮尺	図示
(一) 下原大屋(停)線 上田市 下郷~小井田			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

PLガッター

(B200-H150-T150)

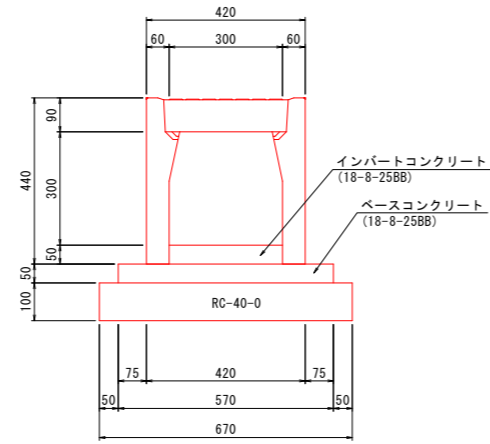


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
調整モルタル	1:3	m ³	0.086
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	4.8
PLガッター(防草型)	B200-H150-T150	m	10.0

自由勾配側溝 縦断用

(300×300)

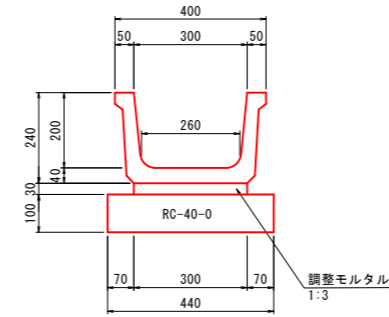


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
インバートコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.15
ベースコンクリート	18-8-25BB	m ³	0.29
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	6.7
型枠		m ²	1.0
グレーチング蓋	歩道用300型 l=0.5m	枚	2
コンクリート蓋	歩道用300型 l=0.5m	枚	8
自由勾配側溝	縦断用 300×300	m	10.0

ベンチフリューム

(BF-300・既設再利用)

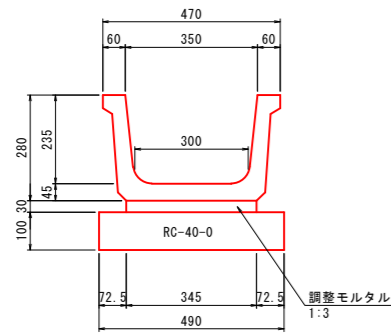


10m 当り 数量表

項目	規格	単位	数量
調整モルタル	1:3	m ³	0.09
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	4.4
ベンチフリューム	BF-300 (既設再利用)	m	10.0

ベンチフリューム

(BF-350・既設再利用)



10m 当り 数量表

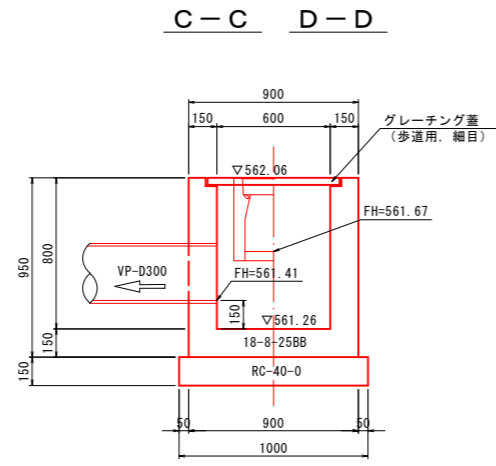
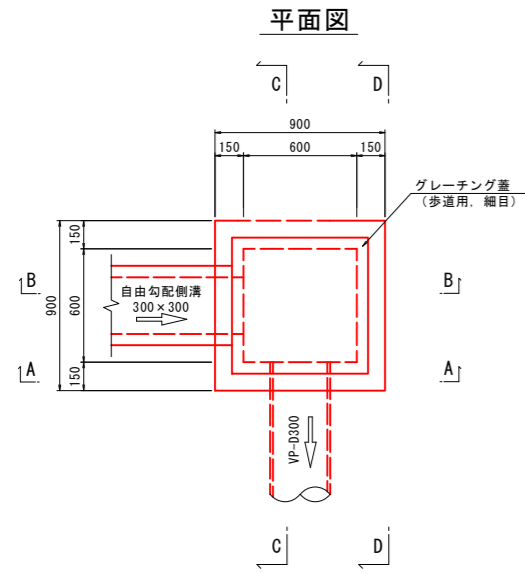
項目	規格	単位	数量
調整モルタル	1:3	m ³	0.10
基礎砕石	RC-40-0 t=10cm	m ²	4.9
ベンチフリューム	BF-350 (既設再利用)	m	10.0

(参考図)
実施図

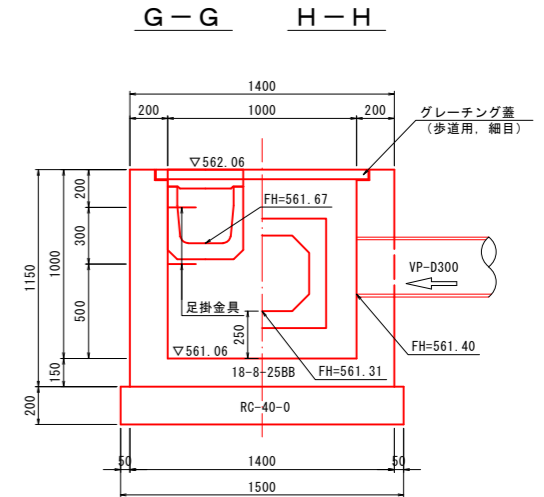
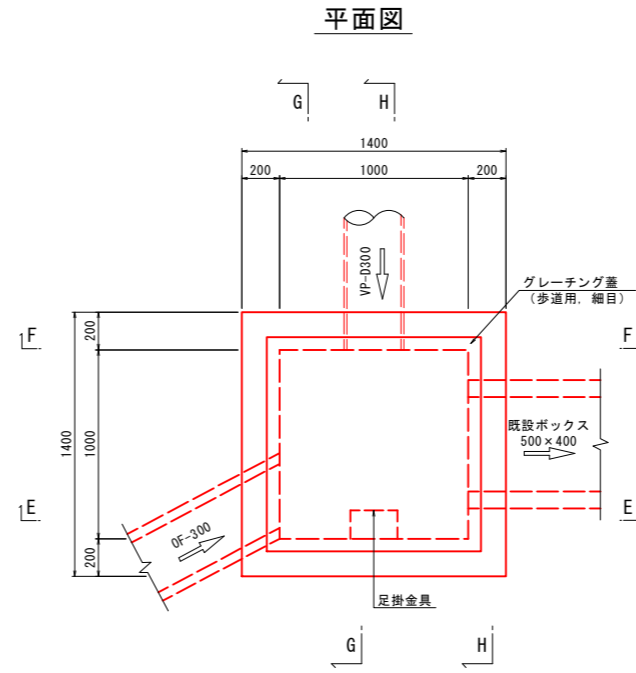
小井田工区			
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事			
番号	10/11	用・排水路構造図	縮尺 1:10
(一) 下原大屋(停)線			
上田市 下郷~小井田			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

集水樹構造図

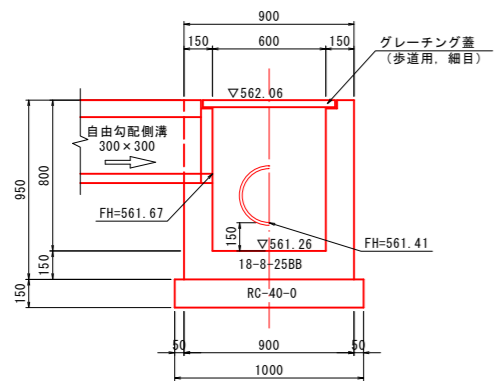
1号集水樹 S=1:20



2号集水樹 S=1:20



A-A B-B



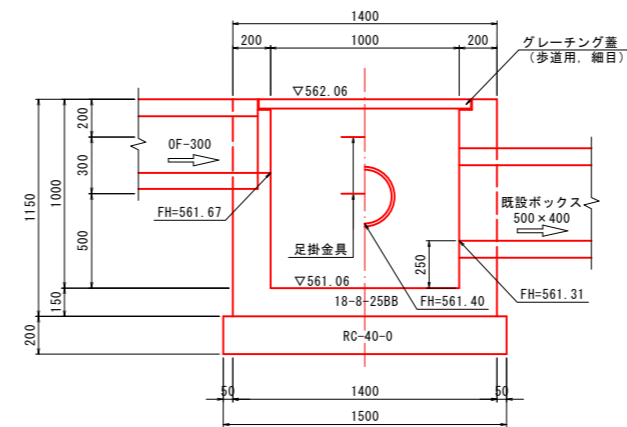
1号集水樹数量計算

- コンクリート(18-8-25BB)
 $V = 0.90 \times 0.90 \times 0.95 - 0.60 \times 0.60 \times 0.80 - (0.42 \times 0.44 \times 0.15) - (\pi/4 \times 0.318^2 \times 0.15) = 0.44 \text{ m}^3$
- 型枠
 $A = 0.90 \times 0.95 \times 4 + 0.60 \times 0.80 \times 4 - (0.42 \times 0.44 \times 2) - (\pi/4 \times 0.318^2 \times 2) = 4.8 \text{ m}^2$
- 基礎砕石(RC-40-0, t=15cm)
 $A = 1.00 \times 1.00 = 1.0 \text{ m}^2$
- グレーチング蓋(落し込式, 600x600, 歩道用, 細目)
 $N = 1 \text{ 枚}$

2号集水樹数量計算

- コンクリート(18-8-25BB)
 $V = 1.40 \times 1.40 \times 1.15 - 1.00 \times 1.00 \times 1.00 - (\pi/4 \times 0.318^2 \times 0.20) - (0.40 \times 0.475 \times 0.20) - (0.68 \times 0.58 \times 0.20) = 1.12 \text{ m}^3$
- 型枠
 $A = 1.40 \times 1.15 \times 4 + 1.00 \times 1.00 \times 4 - (\pi/4 \times 0.318^2 \times 2) - (0.68 \times 0.58 \times 2) = 9.1 \text{ m}^2$
- 基礎砕石(RC-40-0, t=20cm)
 $A = 1.50 \times 1.50 = 2.3 \text{ m}^2$
- グレーチング蓋(落し込式, 1000x1000, 歩道用, 細目)
 $N = 1 \text{ 枚}$
- 足掛金具(二次製品)
 $N = 2 \text{ 本}$

E-E F-F



実施図

小井田工区				
令和元年度 防災・安全交付金 交通安全 工事				
番号	1/1	集水樹構造図	縮尺	図示
(一) 下原大塚(停)線				
上田市 下郷~小井田				
所長	課長	照査	設計	
上田建設事務所				
設計会社		管理技術者		
測量会社		照査技術者		
調査会社		主任技術者		